

## O-12 駐車場・自転車等駐車場の実態・課題

### ■ 施設概要

市には市営の駐車場と自転車等駐車場との複合施設が 1 施設、自転車等駐車場が 9 施設あります。

#### 〔施設一覧〕

駅	複合	施設名	面積	築年	複合施設等
町田駅	○	町田ターミナル自転車駐車場		1983	町田ターミナル プラザ
町田駅		原町田一丁目駐車場・原町 田一丁目自転車駐車場	6,989	1979	
町田駅		原町田三丁目自転車駐車場	464	1989	
町田駅		原町田四丁目自転車駐車場	1,050	2002	
成瀬駅		成瀬駅北口自転車駐車場	354	1994	
成瀬駅	○	なるせ駅前市民センター 地下自転車駐車場	-	-	なるせ駅前市 民センター
鶴川駅		鶴川駅東側バイク駐車場	11	2010	
玉川学園前駅		玉川学園二丁目自転車駐車 場	286	1992	
すずかけ台駅		すずかけ台駅前自転車駐車場	120	1988	
相原駅		相原駅東口自転車駐車場	1,066	1993	

### ■ 実態と課題

- 〔配置〕 ・ すべての施設が駅前にあり、うち町田駅周辺に 4 施設がある。
- 〔建物〕 ・ 老朽化してきた建物の維持管理および更新が課題となっている。
- 〔機能〕 ・ 自転車等駐車場の内訳は、自転車専用の駐車場が 4 施設、バイク専用の駐車場が 1 施設、自転車及びバイク両用の駐車場が 5 施設である。自転車専用の駐車場のうち 1 施設は自動車の駐車場と複合している。
- 〔利用〕 ・ 駐車場は 1998 年をピークに利用料金収入が減少している。自転車等駐車場は、一時利用者が増加している。
- 〔運営〕 ・ すべて指定管理となっている。

## ■ 4つの視点から

### 行政関与の必要性

- ・ 法律等による設置義務はない。
- ・ 原町田一丁目駐車場については、都市計画施設に位置付けられている。
- ・ 自転車等駐車場については、「自転車の安全利用の促進及び自転車塗油の駐車場対策の総合的推進に関する法律」で、自転車等の需要の著しい地域には一般公共の用に供される自転車等駐車場の設置、大量の駐車需要を生じさせる施設（官公署、学校、図書館など）の設置者は、その施設の利用のために必要な自転車等駐車場の設置に努めなければならないとされている。

### 設置目的との整合性

- ・ 当初の設置目的のとおり運営されている。

### 利用状況の妥当性

- ・ 駐車場は 1998 年をピークに利用料金収入が減少している。
- ・ 自転車等駐車場は、一時利用者が増加している。

### 施設の代替性

- ・ 民間の施設がある。駐車場については、建設当時に比べて周りに民間施設が増えている。

#### 〔現状・課題のまとめ〕

原町田一丁目駐車場については、都市計画施設に位置づけられていますが、1998 年をピークに利用台数および利用料金収入が減っていること、民間の駐車場が周辺に増加していることから、運営の見直しが課題です。市内に 10 ヶ所ある自転車等駐車場は、利用が増加しています。

## ▷ O-12 駐車場・自転車等駐車場施設の今後の方向性

### ■ 今後の方向性

L

PP

さらなる民間活力の導入により効率的かつ需要に見合ったサービス提供を行う。施設更新の際は、土地の貸し付け、整備、長期の維持管理まで含めた民間活用を検討する。